

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。3月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り（詳細は2022年5月号参照）。

でん粉の需給見通し

【令和2でん粉年度（実績）】

需要量：237万7000トン（前年度比3.5%減）

供給量：241万8000トン（同3.0%減）

【令和3でん粉年度（見通し）】

需要量：244万トン（同2.7%増）

供給量：246万1000トン（同1.8%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		令和元でん粉年度 （実績）	令和2でん粉年度 （実績）		令和3でん粉年度 （見通し）				
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計	
需要	糖化製品	1,666	750	871	1,621	747	883	1,630	
	化工でん粉	301	121	141	263	145	142	287	
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	495	221	271	494	247	277	523	
	合計	2,462			2,377			2,440	
供給	前年度繰り越し	14			32			40	
	国産いもでん粉（生産量）	208	186	—	186	171	—	171	
		かんしょでん粉	28	21	—	21	21	—	21
		ばれいしょでん粉	180	165	—	165	150	—	150
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,108	936	1,112	2,048	963	1,123	2,086
		輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	138	60	65	126	68	68	136
			輸入でん粉（その他用）	9	5	5	11	6	7
		小麦でん粉	16	8	8	15	8	8	15
	合計	2,493			2,418			2,461	
		次年度繰り越し	32			40			21

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和3年10月～令和4年3月 (見込み)			令和4年4月～9月 (見通し)			令和3でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	5	14	19	6	10	15	11	24	35
		化工でん粉	1	21	22	0	15	15	1	36	37
		その他	5	20	25	4	24	28	9	44	53
		小計	11	55	67	10	48	58	21	103	125
	その他の用途	0	28	28	0	37	37	0	65	65	
	計	11	84	95	10	85	95	21	168	190	
供給	前期からの繰り越し	6	34	40	16	100	116	6	34	40	
	生産量	21	150	171	0	0	0	21	150	171	
	計	27	184	211	16	100	116	27	184	211	
次期への繰り越し		16	100	116	5	16	21	5	16	21	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用飼料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

2. 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

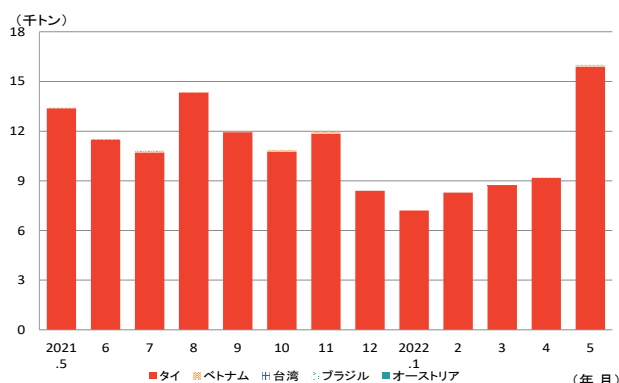
5月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年5月のタピオカでん粉の輸入量は、1万6005トン（前年同月比19.3%増、前月比74.2%増）と、前年同月から大幅に増加した（図1）。

輸入先はタイ、ベトナム、台湾およびブラジルで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

タイ	1万5888トン
	（前年同月比18.7%増、前月比73.2%増）
ベトナム	102トン
	（同20.8倍、同7.3倍）
台湾	11トン
	（同48.8%減、同58.8%増）
ブラジル	3トン
	（前年同月輸入実績なし、同6.5倍）

図1 タピオカでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

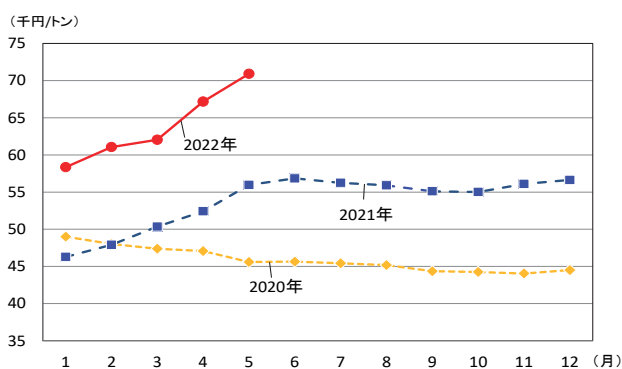
2022年5月の1トン当たりの輸入価格は、7万914円（前年同月比26.7%高、前月比5.6%高）と、前年同月を大幅に上回った（図2）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	7万614円
	（前年同月比27.1%高、前月比5.7%高）
ベトナム	7万1775円
	（同49.4%安、同59.8%安）

台湾 41万9718円
 (同51.2%高、同15.3%高)
 ブラジル 27万7538円
 (前年同月輸入実績なし、同68.9%安)

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

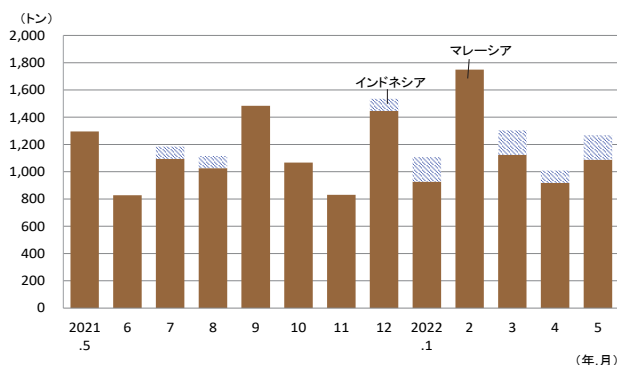
5月の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2022年5月のサゴでん粉の輸入量は、1268トン（前年同月比2.2%減、前月比25.8%増）と、前年同月からわずかに減少した（図3）。

輸入先はマレーシアおよびインドネシアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア 1088トン
 (前年同月比16.0%減、前月比18.5%増)

図3 サゴでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

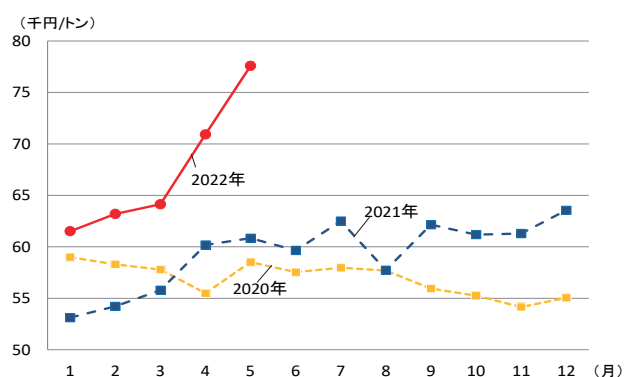
インドネシア 180トン
 (前年同月輸入実績なし、同2.0倍)

2022年5月の1トン当たりの輸入価格は、7万7587円（前年同月比27.5%高、前月比9.4%高）と、前年同月を大幅に上回った（図4）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア 7万7896円
 (前年同月比28.1%高、前月比9.0%高)
 インドネシア 7万5717円
 (前年同月輸入実績なし、同15.8%高)

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

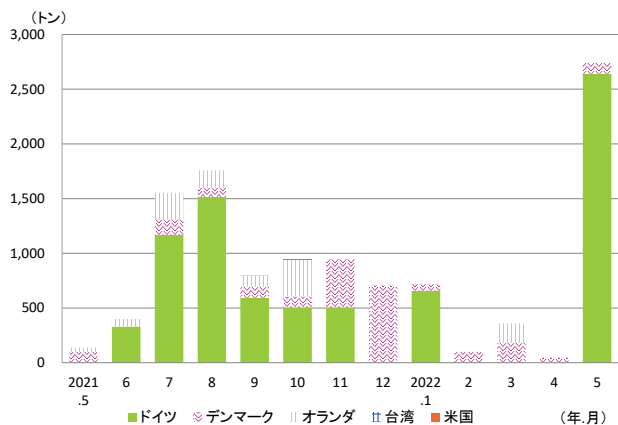
5月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年5月のばれいしょでん粉の輸入量は2740トン（前年同月比19.6倍、前月比59.6倍）と、前年同月から大幅に増加した（図5）。

輸入先はドイツおよびデンマークで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

ドイツ 2640トン
 (前年同月および前月輸入実績なし)
 デンマーク 100トン
 (前年同月同、前月比2.3倍)

図5 ばれいしょでん粉の国・地域別輸入量の推移



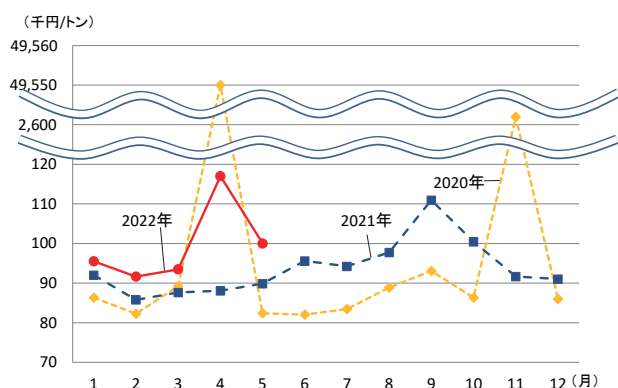
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2022年5月の1トン当たりの輸入価格は、10万28円(前年同月比11.3%高、前月比14.5%安)と、前年同月をかなり大きく上回った(図6)。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

ドイツ 10万156円
(前年同月および前月輸入実績なし)
デンマーク 9万6650円
(前年同月比7.9%高、前月比5.9%安)

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

【でん粉誘導体の輸入動向】

5月の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

財務省「貿易統計」によると、2022年5月のでん粉誘導体の輸入量は、3万9798トン(前年同月比14.9%増、前月比16.4%減)と、前年同月からかなり大きく増加した(図7)。

でん粉誘導体の輸入先は16カ国・地域で、最大の輸入先はタイであった。主要輸入先からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、フランスとなっている(表3)。

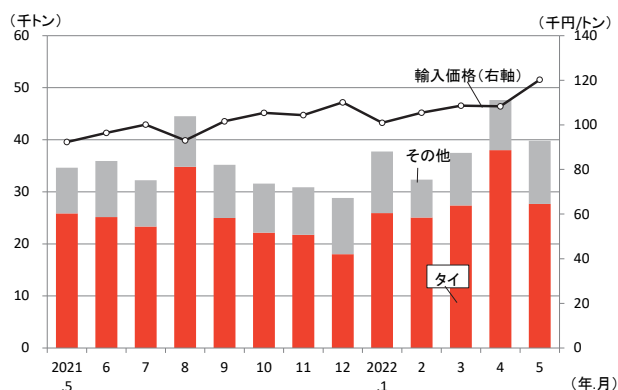
表3 でん粉誘導体の主要輸入先および輸入量(5月)

輸入先	輸入量(トン)	シェア
合計	39,798	100.0%
うち タイ	27,667	69.5%
ベトナム	2,988	7.5%
フランス	2,389	6.0%
デンマーク	1,475	3.7%
スウェーデン	1,374	3.5%
米国	861	2.2%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

2022年5月の1トン当たりの輸入価格は、12万212円(前年同月比30.2%高、前月比11.0%高)と、前年同月を大幅に上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

5月の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

財務省「貿易統計」によると、2022年5月のデキストリンの輸入量は、1,249トン（前年同月比11.5%増、前月比17.1%減）と、前年同月からかなり大きく増加した（図8）。

デキストリンの輸入先は11カ国・地域で、輸入量は上位輸入先の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先からの輸入量は次の通りで、タイおよびベトナムで輸入量の約7割を占めている（表4）。

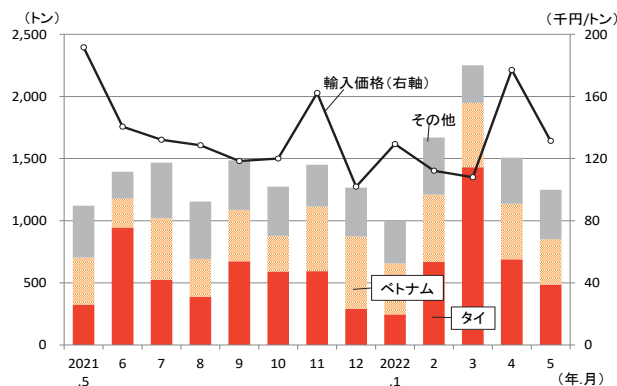
表4 デキストリンの主要輸入先および輸入量（5月）

輸入先	輸入量（トン）	シェア
合計	1,249	100.0%
うち タイ	486	38.9%
ベトナム	365	29.2%
マレーシア	114	9.1%
中国	83	6.6%
ドイツ	70	5.6%
米国	48	3.8%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

2022年5月の1トン当たりの輸入価格は、13万1418円（前年同月比31.4%安、前月比25.8%安）と、前年同月を大幅に下回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】

5月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年5月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、27万7565トン（前年同月比21.7%増、前月比25.6%増）となり、前年同月から大幅に増加した（図9）。

輸入先は、米国および南アフリカで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

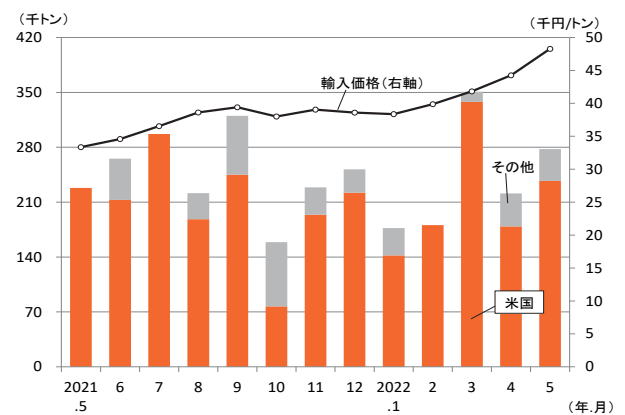
米国	23万7089トン
	（前年同月比3.9%増、前月比32.4%増）
南アフリカ	4万476トン
	（前年同月輸入実績なし、同12.7%増）

2022年5月の1トン当たりの輸入価格は、4万8276円（前年同月比44.7%高、前月比9.1%高）と、前年同月を大幅に上回った。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国	4万8731円
	（前年同月比46.1%高、前月比9.3%高）
南アフリカ	4万5614円
	（前年同月輸入実績なし、同5.0%高）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091